

府県
内閣府
2月景況判断

全地域で下方修正

東海・北陸「極めて急速に悪化」

内閣府は二十六日、二
月の地域経済動向を発表
した。昨年十一月の前回
調査に続き、全国十二地
域の景況判断をすべて下
方修正した。自動車や電

地域別の景況判断

判断	地域
弱まっている	沖縄
悪化している	北海道、近畿、四国
急速に悪化している	東北、北関東、南関東、中国、九州
極めて急速に悪化している	東海、北陸

子部品のメーカーが集ま
る地域で景況感の悪化が
目立ち、東海と北陸は「極
めて急速に悪化」との厳
しい判断を示した。
地域経済動向は三カ月
ごとに公表し、地域ごと
の景況感と、鉱工業生産
や個人消費、雇用情勢に
ついて判断を示してい
る。
二月はすべての地域で
三項目の判断をそろって
下方修正し、景況の急速
な悪化が全国的に広がっ
ているとした。
最も厳しい景況判断を
示した東海は自動車、北

陸は電子部品の生産が昨
年十一月に急減し
た。この二地域は失業時
間の減少も大きく、雇用
情勢が悪くなっている。
「急速に悪化している」
とした東北と北関東、南
関東、中国、九州も生産
の判断は「極めて大幅に
減少」で、製造業の不振
が地域経済の重しとなっ
ている。
十一月の前回調査で
「足踏み状態」としてい
た沖縄は観光客が減り始
め、今回の調査では「弱
まっている」に下方修正
した。